

群馬 ビルメンニュース

2017
No. 38
盛夏号



「仙境 尾瀬沼 花の原」撮影：佐藤祐二氏



平成29年8月1日発行

一般社団法人 群馬県ビルメンテナンス協会



(一社)群馬県ビルメンテナンス協会
会長 村田 茂行

平成29年度の 事業が 始まりました

本年5月29日に、総会を開催し、上程議案すべてご承認頂き、平成29年度の事業が始まりました。

今回は、災害支援協定の締結について決議頂き、具体的内容を理事会で検討することになりました。現在、全国ビルメンテナンス協会の連携会員である地区協会のうち20余りの協会が、地元都道府県等と災害支援協定を締結しています。社会貢献活動の一環として、災害時における避難所等の清掃業務の支援等が主な内容です。

近年、全国的に地震や風水害等の大規模災害が発生しています。いろいろな業界団体がそれぞれの業務を実施することで、都道府県等と災害支援協定を締結しています。我が協会は、ビルメンテナンス業務を通して、いざという時に貢献できることを目指しています。

6月4日(日)は、群馬クリーン作戦が行われ、会員各社のご家族の皆さんにもご協力を頂き過去最多の170名余りの参加者でした。朝の赤城大沼周辺の気温は、初夏にもかかわらず6度で、皆さん震える様な状態でした。1時間半程で作業も終わりごみも沢山拾って頂きました。お疲れ様でした。

昨年度は、応募者が少なくて実施できなかったビル設備管理科講習会が、今年度は13名の受講者がありました。名称もビルメンコースと

なり7月27日に開校式を行いました。1年間のブランクがありますが、講師陣は大変張り切って講義に当たって頂いています。受講生には、2級ボイラー技士や危険物乙種第4類にチャレンジして頂き3か月後の講習会終了時に、協会員各社と面接会をし、ビルメンテナンスの業界人として活躍して頂くことを望んでいます。

昨年より始まった、ビルメンテナンス業における外国人技能実習制度については、7月25日に群馬県ビルメンテナンス会館で、県内の会員以外の所属企業より3名が受検しました。9月には、会員所属の3名が予定されています。日本人が受検する1、2、3級は、各地区本部ごとの会場で、決まった期間に検定をしますが、外国人技能実習生は、公益財団法人国際研修協力機構より連絡が有り、入国して9か月から10か月の間に各地で実施します。よって会場が、地区協会であったり所属企業であったりします。既に、全国では100名を超える技能実習生が各ビルの清掃業務で頑張っています。

今年度も、障がい者就労支援事業、建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づく各種講習会、安全衛生大会、女性セミナー、親睦事業等積極的に実施して行きます。ご協力よろしくお願い申し上げます。





群馬県健康福祉部
食品・生活衛生課長 中村 広文

建築物の 衛生環境確保への 期待

一般社団法人群馬県ビルメンテナンス協会の皆様には、本県の建築物関係の衛生管理行政に対しまして御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

貴協会におかれましては、日頃から建築物の管理に関する専門的な技術の研究や各種講習会の開催等、常に業界の知識と技術の研鑽に努められているとともに、本県における建築物の環境衛生の向上はもとより、障がい者就労支援事業、高齢者の雇用拡大（シニアワークプログラム）、普及啓発事業及び広報キャンペーン等、精力的な取り組みを行われていると承っております。

国内では、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、首都圏を中心にインフラ整備の加速が予想されているところであり、国の内外から訪れる人たちに、快適かつ安全で衛生的な環境を提供することの重要性に対する認識は日増しに高まってきており、ビルメンテナンス業界への期待と果たすべき役割は大きいものと拝察いたします。

近年、入浴施設の衛生管理の不備が原因と思われるレジオネラ症の発生が全国的に問題となっておりますが、レジオネラ症は、時に重篤な肺炎を起こし、死亡例も報告されている病気です。その発生防止のためには、入浴施設の営業者による維持管理は勿論のことです

が、現実的には専門家による施設設備の的確な清掃消毒の徹底が、事故発生の未然防止を確実に図るために必要であろうと考えます。

平成29年度当初における建築物衛生法に基づく本県の事業登録状況についてみてみますと、建築物の清掃事業35件、建築物の空気環境測定事業19件、建築物の空気調和用ダクト清掃事業2件、建築物の飲料水水質検査事業15件、建築物の飲料水貯水槽清掃事業78件、建築物の排水管清掃事業14件、建築物のねずみ昆虫等防除事業20件及び建築物の環境衛生総合管理事業13件の計8事業196件となっています。

群馬県ビルメンテナンス協会の皆様におかれましては、建築物における衛生的環境の確保に関する法律（建築物衛生法）に基づく維持管理を実施され、良好な衛生水準の確保に御尽力されているところであり、その業務の重要性に改めて敬意を表する次第です。

県では、貴協会の御支援・御協力を賜りながら、生活環境の衛生を推進すべく取り組んで参りたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

平成29年度 通常総会開催

(一社)群馬県ビルメンテナンス協会 群馬県ビルメンテナンス協同組合 群馬県ビルメンテナンス政治連盟

平成29年5月29日(月)群馬県ビルメンテナンス会館において、通常総会が開催された。

一般社団法人群馬県ビルメンテナンス協会

村田茂行会長が簡単な挨拶を行い、来賓として群馬県健康福祉部食品・生活衛生課次長高田勇人様より祝辞をいただきました。その後、事務局より、総会に必要な定数の報告があり、会長が議長となり審議した。

● 第1号議案	平成28年度事業報告書並びに収支決算書承認の件
● 第2号議案	平成28年度公益目的支出計画実施報告書承認の件
● 第3号議案	代議員選出の件
● 第4号議案	基金返還の件
● 追加承認	災害時における群馬県との協定の件
● 報告事項	平成29年度事業計画並びに平成29年度予算について報告

夫々、事務局長より説明があり、併せて監査報告を福島宏成監事が行い、その後議長は議場に諮ったところ全員異議なく承認された。

群馬県ビルメンテナンス協同組合

高橋康男理事長より簡単な挨拶のあと、事務局が総会に必要な定数の報告があり、理事長が議長となり審議した。

● 第1号議案	平成28年度事業報告書並びに収支決算書承認の件
● 第2号議案	平成29年度事業計画並びに収支予算案決定の件
● 第3号議案	定款変更の件
● 第4号議案	役員選任の件

専務理事が説明し、併せて監査報告を田中賢司監事が行い、その後、議長は議場に諮ったところ全員異議なく承認された。また新役員として次の方が選任されました。

● 代表理事(理事長)	高橋 康男(再任)
● 副理事長	塚田 且美(再任)
● 専務理事	品川 廣幸(再任)
● 理事	村田 茂行(再任)
● 理事	山本 和夫(再任)
● 理事	富岡 孝(新任)
● 監事	田中 賢司(再任)



群馬県ビルメンテナンス政治連盟

塚田且美理事長が議長になり、夫々の議案を審議した。

● 第1号議案	平成28年度事業報告書並びに収支決算書承認の件
● 第2号議案	平成29年度事業計画並びに収支予算決定の件

事務局が夫々説明し、議長は議場に諮ったところ全員異議なく承認した。

平成29年度 事業計画・協会行事

一般社団法人 群馬県ビルメンテナンス協会の事業の目的・方向性

- (1) 定款記載の目的を達成するための事業の推進
- (2) 研修センターの有効活用を継続してすすめる
- (3) (公社)全国ビルメンテナンス協会との一層の連携を図り、事業を構築する
- (4) 関係諸官庁との情報交換を図る
- (5) 情報収集と会員への伝達

● ビルクリーニング新3等級説明会		平成29年 4月19日
● ビルクリーニング技能競技会群馬県大会		平成29年 4月24日
● 協会講師 講師登録 講師講習会		平成29年 5月12日
● ビルクリーニング技能競技会関東甲信越地区大会		平成29年 5月17日
● 積算・見積研修会		平成29年 7月20日
● 清掃作業従事者研修会(前橋会場)		平成29年 9月 8日
● 清掃作業従事者指導者講習会		平成29年10月11日
● 設備研修会		平成29年10月27日
● 清掃作業従事者研修会(太田会場)		平成29年11月 7日
● 病院清掃作業従事者研修会		平成30年 2月 2日
● 防除作業従事者研修会		平成30年 2月22日
● 貯水槽清掃作業従事者研修会		平成30年 2月22日
● シニアワークプログラム事業	渋川会場	平成29年 9月25日～10月 5日
	桐生会場	平成29年11月27日～12月 7日
● 家事・介護支援講習	前橋会場	平成29年 6月29日
	渋川会場	平成29年 8月29日
	神流町会場	平成29年 9月22日
	安中会場	平成29年10月10日
	みなかみ会場	平成29年10月13日
● 店舗クリーンスタッフ講習	高崎会場	平成29年 8月 4日、 8月 8日
	明和町会場	平成29年10月17日～10月18日
	太田会場	平成29年11月20日～11月21日
● ビル設備科管理者育成講座(前橋産業技術専門校委託)		平成29年7月27日～10月26日(3ヶ月間)
● 安全パトロール		平成29年 7月12日 組合物件2か所
● 安全衛生大会		平成29年10月 4日(前橋テルサ)
● 春の環境美化月間 清掃活動の参加(群馬県主催)赤城山大沼周辺		平成29年 6月 4日
● 厚生事業	ゴルフ大会	平成29年 6月 5日(赤城国際CC) 平成29年11月 8日(高梨倶楽部CC)
	ボウリング大会	平成29年 9月15日
● 女性セミナー「カラーセラピーでストレスケア」		平成29年 7月19日
● 子育て支援 夏休み親子で収穫体験		平成29年 7月30日
● 目指せ健康優良企業!健康ハイキング		平成29年11月12日
● 介護と仕事の両立支援セミナー		平成30年 1月26日
● アビリンピック全国大会		平成29年11月17日～11月19日
● ぐんまアビリンピック大会		平成30年 2月11日

ビルクリーニング技能競技会 群馬県予選会

平成29年4月24日、ビルクリーニング技能競技会群馬県予選会が開催され、8名の選手が日頃の練習の成果を競い合いました。厳正な審査の結果、上位2名が関東甲信越ビルクリーニング技能競技会へ出場しました。



最優秀賞

JR高崎鉄道サービス(株)	柳瀬 幸生
東朋産業(株)	齋藤 龍之介



優秀賞

グローブシップ(株)群馬支店	渡部 亜矢子	東朋産業(株)	後藤 圭太
ケービックス(株)	安積 正和	東朋産業(株)	攪上 貴
JR高崎鉄道サービス(株)	鈴木 克久	東洋ポリーズ(株)	中村 翔

関東甲信越ビルクリーニング技能競技会

関東甲信越ビルクリーニング技能競技会に出場して

JR高崎鉄道サービス(株) / 柳瀬 幸生

この度は、関東甲信越ビルクリーニング技能競技会に出場できる機会をいただき、本当にありがとうございました。必死で練習に取り組み、清掃仕上げや安全行動を最大限にアピールしましたが、結果は優秀賞となり、全国大会には届きませんでした。

練習は多大なるご迷惑をかけ、覚えの悪い未熟な私を、競技会に出場できる技能まで指導していただきました指導者へは感謝しかありません。しかも、技能だけではなく、競技一つ一つの行動には意味があり、理解して後輩へ指導できるようにならなければならないことや、ビルメンテナンス業がより質の高いサービスを要求されていることも教えていただきました。

今後は、ビルクリーニング技能士として、競技会の経験を活かし、清掃技能向上に貢献できるよう、日々の業務に励みます。

東朋産業(株) / 齋藤 龍之介

4月24日に行われたビルクリーニング技能競技会群馬県予選会にて最優秀賞を頂き、5月17日に東京で開催された関東甲信越大会に出場させていただきました。

県予選では、緊張のしすぎで作業工程を一部忘れてしまい、思い通りのパフォーマンスが出来ず非常に悔しい思いをしました。会社の上司にご協力いただき、練習を重ねる中で清掃という仕事の奥深さに気付かされました。適度なスピードや姿勢、道具の持ち方など、普段何気なくやってきた作業も少しの工夫で効率良く手際良く仕上げる事が出来るのだなと改めて感じました。

大会では今までのベストタイムでやりきることが出来ましたが、あがり症が祟って自分の順番が来るまで震えが止まりませんでした。それでも目立った失敗もなく、持ち得るベストを尽くせたのではないかと思います。

残念ながら、全国大会出場は果たせませんでした。次回出場を目指して練習に仕事とともにより一層精進してまいります。

ビルクリーニング技能士検定 合格者

ビルクリーニング技能士に合格して

ケービックス(株) / 安積 正和

ビルクリーニング技能士資格取得にあたり、会社の方々のたくさんの協力、又ビルメンテナンス協会の方々に適切な指導をいただき感謝しております。

実技試験では順番が最後であったため他の受験生が次々に試験に呼ばれる中で2時間程度の待ち時間があり時間が経つほど緊張感が高まっていました。自分が呼ばれた時はやはりかなり緊張しましたが教えていただいたことを思い出し試験に集中することで時間内の工程をこなすことができました。

学科試験につきましては過去問題を徹底的にこなし自信を持って挑むことができました。

今回の試験には様々な方々の協力があったと感じておりますので今後に向けては会社への貢献、恩返しができるよう自身を磨いていきたいと考えております。



ビルクリーニング技能士を取得して

東洋ポリーズ(株) / 中村 翔

ビルクリーニング技能士の資格を取得するにあたり、講習を開催して下さったビルメンテナンス協会の方、適切な指導やアドバイスをして頂いた講師の方々、会社の上司の指導により無事合格することができました。ありがとうございました。

ビルクリーニング技能士の試験を通じて、今まで疎かになっていた基本作業の細かい部分を再確認できたと思います。これからはビルクリーニング技能士の資格を活かし、ミス無く安全に日々の作業につなげていければと思います。またこの経験を活かし、現場での指導等にも反映できれば幸いです。



ビルクリーニング検定合格への道のり

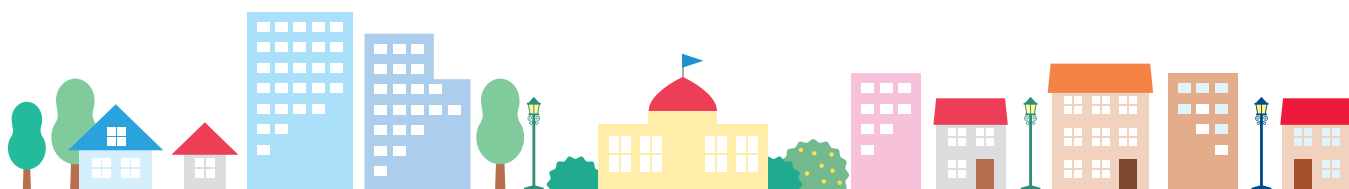
ファースト・ファシリティーズ群馬(株) / 菅野 稔彦

20分14秒。これは私の12月1日時点の床表面洗浄のタイムです。実技試験日の12月14日まであと2週間しかなく、暗雲が立ち込めましたが、12月9日の床表面洗浄のタイムはなんと16分59秒で、失格となる打ち切りタイムの20分はおろか、標準タイムである17分を上回っていました。

この結果は、群馬県ビルメンテナンス協会2Fの練習場へ何度も足を運び、汗でユニフォームが濡れる程、練習をしたからだと思います。

しかし、私にとって一番のきっかけとなったのは、他社の方の練習風景を見させていただいたことでした。

今回のビルクリーニング検定合格という結果が自分ひとりの力ではなく、様々な方の協力があったからこそと感じております。私はこの方々への感謝の想いを忘れずに、日々の仕事に取組み、ビルメンテナンス業界の発展に貢献していきたいと思っております。



春の環境美化運動を終えて

青年部常任幹事 / 登丸 一雄

群馬県では、美しいふるさとづくりを一層推進するため、野外で活動する機会が増える5月・6月を「春の環境美化月間」、秋の行楽シーズンとなる9月・10月を「秋の環境美化月間」と定め、県民、事業者及び県・市町村が連携して、清掃活動やごみの不法投棄防止、ごみの減量化、植栽・植林を呼びかける普及啓発等を実施しています。

春の実施期間内(平成29年5月1日～6月30日)だけでも県内6会場において、ごみ拾い等のイベントが企画開催されており、当協会も県の活動方針に賛同し、青年部を中心とした会員により、平成13年から連続して清掃活動に参加してまいりました。参加17回目となる今年度は、161名の皆様からご協力を得ながら無事に清掃活動を終えることが出来ました。

開催当日は、例年に無い低い気温(6度)と強風により、体感気温は0度に近いと感じてしまう程の寒い環境の中での活動となってしまいましたが、皆様の環境美化に対する高い志に支えられ、赤城湖畔のごみを数多く収集して頂きました。前年は150kgほどの収集量が報告されておりますが、今年度は、会員皆様をはじめとする多くの環境美化に取り組まれている方々の功績により、ごみの減量化が目に見える形でご報告できるのではないかと思います。県からの報告が楽しみです。

これからも、協会青年部は「自然の豊かさを大切に思う」気持ちを持ち続けると共に、快適で暮らしやすい社会の為に全力でビルメンテナンス業界を盛り上げてまいります。

最後に、ご参加頂きました会員皆様と関係者の方々の多大なるご協力に感謝を申し上げます。有難うございました。



参加企業

オオラ美装(株)、(株)環境保全センター、(株)協和、群馬中央ビルサービス(株)、(株)グンビル、グローブシップ(株)群馬支店、ケービックス(株)、JR高崎鉄道サービス(株)、上毛資源(株)、太平ビルサービス(株)前橋支店、太陽ビルサービス(株)、テルウェル東日本(株)群馬支店、東朋産業(株)、東洋ポリーズ(株)、ビルメン(株)、(株)ビー・エム・シー、ファースト・ファシリティーズ群馬(株)、藤田テクノ(株)、大和メンテナンス(株)

春の環境美化運動に参加して

グローブシップ(株)群馬支店/木暮 正

6月4日(日)に行われた、赤城山・大沼周辺の環境美化運動には5年間連続して参加させていただきました。当日は天気がよく絶好の活動日和だと思っておりましたが、気温が低く風もあり長袖・上着を着ても寒いくらいの環境でした。しかし反対側のキャンプ場・水門付近の環境はとても穏やかで心地良い中、作業をすることが出来ました。

赤城山では、お祭り・イベントも行っていると聞きます。その中で美しい風景(環境)を守られていることに、この場所を訪れた人のマナーやモラルの向上に感心致します。



初参加です

太平ビルサービス(株)前橋支店/営業課 但野 優作

私は、今年の「春の環境美化運動」初参加となります。当日は、初夏の季節とは感じられない極寒の中で美化活動を実施するという、とても印象に残るスタートとなりました。周りの山々や湖畔からの景色を楽しみながら大沼周辺を、ゴミを探しながら一周しました。

当初は、大きな粗大ゴミや家庭ゴミなどの廃棄ゴミが多数出ることを想定してましたが、利用者様の年々の美化意識の定着からか、少量のゴミの回収となりました。しかし参加後の私の意識として、「自分は絶対にゴミを捨てないようにしよう。」と考えるようになり、「このゴミを減らすにはどうしたら良いのだろう?」と、それを他人事ではなく、自分自身の問題として考えるようになりました。「環境美化運動」は、自分自身のそうした「学びの機会」として、有意義な時間を過ごすことが出来ました。

GBK杯

GBKゴルフコンペに参加して

前日の悪天候が嘘のような、絶好のゴルフ日和に、第57回GBKゴルフコンペが赤城国際カントリークラブで開催されました。

昨年4月、太陽ビルサービス(株)に入社した私にとって、今回のゴルフコンペは大好きなゴルフを通して協会会員の皆様と交流が図れる絶好の場と知り、大変楽しみにしておりました。なのに、数日前に痛めた左足首が痛くてキャンセルまで考えましたが“出来るところまでやってみよう”と、足を引きずりながら参加させて頂きました。

この様な体調のなか、同組の久保田様と登丸様のお二人には終始励まされ、諦める事無く最終ホールを迎えることが出来ました。お陰様で幾つもの幸運にも恵まれ「優勝」させて頂きました。なぜ優勝できたのか?考えてみれば、少し体調が悪い方が慎重となり、基本に忠実で丁寧なプレイに徹することが出来たのが、良い結果に繋がったのではないかと思います。

「基本動作が大切」これは私たちの業界にも共通すること。正確・丁寧な取組み姿勢を企業風土として持ち続ける事が、近未来を生き抜く力の原点であることを改めて肌で感じた一日でありました。

この様な機会を与えて下さった村田会長様、品川事務局長様を始めとした協会関係者の皆様に心から感謝致します。



優勝 **富岡 孝**

2位 久保田 智之

3位 山ノ内 昭良



太陽ビルサービス(株)/富岡 孝

特別支援学校への清掃指導

太陽ビルサービス(株) / 小林 礁太郎

協会事業の1つである「障がい者支援事業」を通じて特別支援学校の生徒向けの清掃指導に発足時より携わっております。当初はどのように指導してよいのか分からず、度々、生徒達にご迷惑を掛けたことも記憶しております。

しかし最近は、生徒達との「向き合い方」に随分慣れ、指導もスムーズにできるようになりました。何よりも、以前ではまず難しかった生徒達とのコミュニケーションも図れるようになり、現在においては、指導を行っているというより、楽しく一緒に清掃業務を行っているとも感じさせられるような気がしております。ただ、限られた時間の中での指導なので、毎回、行き届いた指導ができていないのが心配です。

今後においても、このビルメンテナンス協会を通じ、特別支援学校の清掃指導をより充実に行えと共、沢山の生徒達が将来、ビルメンテナンス業に従事してもらえよう努めて参りたいと思います。



安全パトロールによせて

群馬県社会福祉総合センター / 木部 隆司

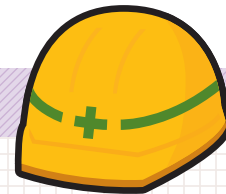
7月12日に私達の職場である群馬県社会福祉総合センターを協会の安全衛生パトロールを受けました。私たちの職場は、上毛資源(株)、東朋産業(株)、ケービックス(株)の3社で維持管理を行っています。

今回は清掃業務担当の上毛資源(株)、警備担当の東朋産業(株)を監査して頂きました。普段あまり意識して安全衛生活動を行っていないせいか、各社事前の聞き取り等行ってみると現場担当者の知らないところで様々な活動をしていることに気づかされました。色々な注意を会社として喚起していますが、このことについてこのような機会がなければ気づかなかったのではないのでしょうか。

春先は居眠り運転の注意、夏は食中毒、熱中症、秋は暴飲暴食、冬はインフルエンザ、ノロウィルスの注意と毎年繰り返し注意喚起を行っています。しかし、人間は自分がその目に合わなければ感じないのです。だから注意喚起を受けても他人事のように聞き流してしまいます。今回の安全パトロールはこのことに気付かせる良い機会ではなかったのかと思います。

当センターは社会福祉に特化された施設であり利用者が毎日来館いたします。その利用者への補助も各警備員が自発的に行っています。また、駐車場での障害者の利用については、構内へ優先的にとめられるよう配慮し、毎日の会議利用状況から適切な駐車場管理に努めています。さらに施設管理では各団体事務所の施設管理も徹底して行っています。

私たちの現場である群馬県社会福祉総合センターは過去10年以上労災事故が発生していません。さらに20年30年と無事故無災害を続けていきたいと思っております。



マナーアップ女性セミナー カラーセラピーでストレスケア

女性セミナー「色で心と身体の声聴く カラーセラピー講座」に参加して

太陽ビルサービス(株) / 高野 真紀

平成29年7月19日カラーセラピー講座に参加させて頂きました。人の第一印象は聴覚(見た目)が55%、聴覚(話し方・声のトーン)が38%残りはその他なのだそうです。だとするとやっぱり見た目は大切。その印象を色で演出できるなら是非取り入れなければ…。

前半は27名の年齢も環境も違う参加者が、9色のカードを使いながら自分の現在の心の状態・自分に必要なサポートをイメージしながら気になる色を選びます。ここでのポイントは直感!ということ。その色に対して自分が持つイメージや意味が現在の状況やそうなりたいという願望なのだそうです。結果を各人が発表し先生の解説を聞いていくうちに、問題と解決方法が色に表れていて、繋がっているんだなぁと実感しました。

後半は質疑を交えながら、前半で選んだカードについて補足説明も含め9色のそれぞれの詳しい解説をして頂きました。日常生活で時間に追われ色の“意味”など考えることなどあまりありませんでしたが、先生のお話はとても参考になりました。色で心や身体のコントロールしていけるのであれば、その意味をよく考えて組み合わせれば自分のオリジナルができるのかな~などと思いつつ、日常生活の中でうまく取り入れて内面の自分と向き合いながらなりたい自分になりたいと思います。

また、今後女性会の活動が発展しこのような機会を増やしていければうれしく思います。ありがとうございました。



(株)ビー・エム・シー / 武井 愛果

平成29年7月19日群馬ビルメンテナンス会館にて開催された「色で心と身体の声聴くカラーセラピー講座」に参加させて頂きました。

色にはそれぞれイメージがありますが、そこから自身の心の状態を知り調えるのがカラーセラピーだそうです。今の自分の心臓の色を選び、そこから心臓の色を読み取るエクササイズでは直感で思った色がまさに自分と重なり驚かされました。それに必要な「サポートを表す色」でも今の自分に何が必要なのか、そんな自分に求めていた答えに出会えたような気がし徐々に自分と向き合えたそんな時間でした。

一般的に持つ色のイメージの他にも思いがけない効果や意味合いなどもあり、講座を通して更なる色に対して興味が湧きました。最近惹かれるこの色は何故なのかとふと思ったときには、何でその色なのかと自分に問いかけてみたいと思いました。



(株)ビー・エム・シー / 中村 沙織

今回カラーセラピー講座に参加させて頂き、自分自身を振り返る事ができました。私がお事で感じたのは、年齢ごとに全く違う色に惹かれていると言う事です。

10代は赤やピンクを選んでました。赤やピンクは愛や情熱、夢見がちで愛されたいという願望、怒りという感情的になる。20代は青や黒、白などを選んでます。黒や白は隠すリセット、青は穏やかさ安らぎです。

このようにふり返ってみると色と心臓の色が繋がっていることがわかりました。これから選ぶ色で自分の事がわかると思うと楽しみです。



お知らせ

代表者の 変更

(株)環境保全センター	代表取締役社長 中澤 和也
JR高崎鉄道サービス(株)	代表取締役社長 鬼海 英夫
太陽ビルサービス(株)	代表取締役社長 富岡 孝
ファースト・ファシリティーズ群馬(株)	代表取締役社長 堀田 勝彦

安全衛生大会の開催案内

平成29年10月4日(水)14:00～
前橋テルサ 8F けやきの間

今年は過去に起きた実際の労働災害の事例を発表します。労働災害防止の参考になりますので、聞いて、考えて、日ごろの行動を振り返っていただき、安全作業の取り組みを進めていく機会にしてください。

特別講演は、県民健康科学大学の五十嵐博先生による「うっかりミスはなぜ起きる」というテーマでご講演いただきます。実際にうっかりミスを体験し、そのメカニズムや防止策についてお話して下さるそうです。ビルメンテナンスの現場における労働災害を1件でも無くしましょう。



ビルメンヒューマンフェア & クリーンEXPO 2017

日時 平成29年11月15日～11月17日
会場 東京ビックサイト

「ビルメンヒューマンフェア」と清掃技術の専門展示会である「クリーン EXPO」が合同開催されます。全国のビルクリーニング技能者が清掃技術を競うビルクリーニング技能競技会やガラスクリーニング選手権、会場内セミナー等見逃せない企画が多数実施されます。ぜひ、ご来場ください。



編集後記

“健康診断は必ず受診してください。おかしければ、精密検査を”

先日、歌舞伎役者海老蔵さんの奥様が“がん”で亡くなられ、少なからず、多くの人の涙をさそった。4人に一人はがんになるといわれ、高齢者の方はもっと確率が高い。私ごとだが、小生も2年前に直腸がんになり、手術をうけた。小生の場合もその2年ほど前より、精密検査を受けるように強く言われたが、放置した。いや、自分は絶対がんにならない、親兄弟も誰もいないと過信していた。思えば、健康診断を受けたまでは良かったが、医者のことを素直に聞けなかった。その結果大きな代償を払うことに成った。

まず、健康診断を受けてください。何事も早期発見に力を注いでください。早期発見はどんな病気も100%防げます。会社も率先して実施してください。(事務局長 品川 廣幸)

【表紙の説明】上毛かるたより「仙境 尾瀬沼 花の原」

日本を代表する美しい風景と貴重な動植物を見られる尾瀬は、平成19年に29番目の尾瀬国立公園として指定されました。本州最大の湿原で、高原植物が咲き乱れる尾瀬の自然の美しさを大切に守り、残していくことを願う読み札です。